

平成30年 4月18日
琉球大学

平成 29 年度 琉球大学研究成果公開促進経費による 学術図書刊行について

このたび、本学の教育研究の質の向上を図るために、中長期的展望に立った研究者の育成を支援する、「平成 29 年度 琉球大学研究成果公開(学術図書等刊行) 促進経費」に採択された1名による学術図書を刊行いたします。

つきましては、多忙な折恐縮ではございますが、貴社において取材・報道等御協力くださいますよう、お願い申し上げます。

著者と書誌の詳細に関しては、別添をご参照ください。

記

【取材対応について】

日時: 随時連絡可

場所: 琉球大学

概要: 次ページ以降の研究の解説をご参照ください。

【お問い合わせ】

琉球大学

研究推進機構研究企画室

〒903-0213

沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地

Tel: 098-895-8486

Email: ura@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

▼ 書誌情報

タイトル：『沖縄・素潜り漁師の社会誌——サンゴ礁資源利用と島嶼コミュニティの生存基盤』

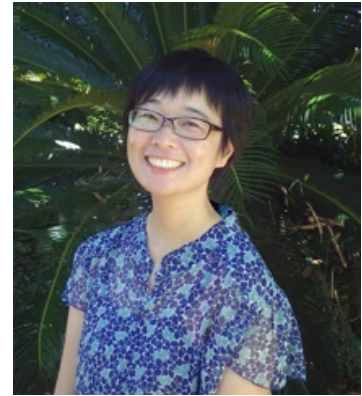
発行年月日：2018年3月30日

出版社：コモンズ（東京）

総ページ数：276（カラー口絵8）ページ

定価：3700円＋消費税

判型：四六判、縦書き



▼ 著者プロフィール

高橋 そよ（たかはし そよ）

琉球大学研究推進機構研究企画室 リサーチ・アドミニストレーター

博士（人間・環境学）、専門：生態人類学。

島をフィールドとした人類学的研究に憧れて、北海道から琉球大学に入学し、伊良部島の素潜り漁師さんに弟子入りをする。京都大学大学院人間・環境学研究科修了後、米国・東西センターの客員研究員、野生動植物の国際取引をモニタリングする国際 NGO のプログラムオフィサーなどを経て、現職。現在は琉球大学に勤務するかたわら、琉球列島各地で人とサンゴ礁との関わりをめぐる自然誌の記録に取り組んでいる。

共著=『『楽園』の島シアミル』宮内泰介・藤林泰編著『カツオとかつお節の同時代史——ヒトは南へ、モノは北へ』（コモンズ、2004年）。主論文=「沖縄・佐良浜における素潜り漁師の漁場認識——漁場をめぐる「地図」を手がかりとして」（『エコソフィア』第14号、2004年）、「魚名からみる自然認識——沖縄・伊良部島における素潜り漁師の漁撈活動を事例に」（『地域研究』第13号、2014年）など。

▼ 内容紹介

人々は、どのようにサンゴ礁と関わりながら生きてきたのだろうか。本書は、沖縄・伊良部島の素潜り漁師に約20年間にわたって弟子入りした著者が、フィールドワークに基づく具体的な事例から、サンゴ礁を生業の場とする人びとが自然を利用する際に顕在化する生活戦略や社会経済的な活動、自然観などを含めた多様な側面に焦点をあて、サンゴ礁資源利用を成り立たせている島嶼コミュニティの生存基盤を総体的に明らかにした一冊である。

具体的な事例から、自然と人の関わり、そして社会経済との関わりについて記述・分析することは、どのように地域社会の人びとが激動する現代社会を認識し、解釈し、対処して生きようとしているのか、人びとの暮らしの動態を解明することと同意義となるだろう。そして、本研究の対象地域を沖縄の離島におくことで、政治経済的な周辺におかれた人びとがどのように自然と向き合ってきたのか、その生き様を描き、沖縄のもうひとつの戦後史の記述を試みる。

▼目次

序章 本書の目的と構成

- 1 本書の目的と視座
- 2 沖縄のサンゴ礁自然利用をめぐる研究動向
- 3 調査方法
- 4 本書の構成

第1章 調査地の概要

- 1 調査地域の自然と社会
- 2 水産資源の商品化からみた島の暮らしの変遷——近代から現代へ
- 3 グローバル市場の周縁に生きる島嶼経済

第2章 素潜り漁師の自然認識と民俗分類

- 1 素潜り漁師の自然認識
- 2 漁撈活動を支える民俗知識
- 3 魚の名称と命名法
- 4 民俗知識の運用——漁場をめぐる「地図」に何が描かれるのか？
- 5 自然と共に生きる知識

第3章 素潜り漁師の漁撈活動——民俗知識とその運用

- 1 潜水による漁法の特徴
- 2 素潜り漁の漁撈活動とサンゴ礁地形の利用

第4章 魚が紡ぐ島嶼コミュニティ——「情」の経済と生活戦略

- 1 魚が紡ぐコミュニティ
- 2 「ウキジュ」という経済慣行
- 3 漁師と仲買いの紐帯
- 4 ツムカギと社会関係の維持
- 5 ウキジュと「情」の経済

第5章 見えない自然を生きる——自然観と社会的モラリティ

- 1 民俗方位ヒューイと方忌み
- 2 マジムヌとカエルガマの儀礼
- 3 聖なる空間と漁場利用

終章 島嶼コミュニティの生存基盤の理解にむけて

- 1 まとめに代えて
- 2 今後の課題と展望

あとがき

初出一覧

参考文献

附表 魚の方名（沖縄・伊良部島佐良浜地区）

索引



サンゴ礁資源利用と
島嶼コミュニティの生存基盤
高橋 そよ

サンゴ礁を生業の場とする人びとの生活戦略や漁撈技術、資源利用と自然認識・民俗知識、取引慣行に基づく「情」の経済を、素潜り漁師の小舟への同乗など約20年間のフィールドワークから考察

コモンズ